

平成 3 0 年度

宝塚市病院事業会計補正予算書

(3)

宝 塚 市 立 病 院



平成30年度宝塚市病院事業会計補正予算（第3号）

（総則）

第1条 平成30年度宝塚市病院事業会計補正予算（第3号）は、次に定めるところによる。

（収益的収入及び支出の補正）

第2条 予算第3条本文に「なお、運転資金に充てるため一般会計から長期借入金550,000千円を借り入れる。」を加える。

（資本的収入及び支出の補正）

第3条 予算第4条本文括弧中「過年度分損益勘定留保資金36,128千円、当年度損益勘定留保資金287,321千円及び一時借入金887,940千円で措置するものとする」を「過年度分損益勘定留保資金36,128千円、当年度損益勘定留保資金等837,321千円及び一時借入金337,940千円で措置するものとする」に改める。

平成31年（2019年）2月26日提出

宝塚市長 中川智子



○ 補正予算に関する説明書

(3)

○



平成30年度宝塚市病院事業会計予定キャッシュ・フロー計算書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(単位:千円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー	
材料の購入による支出	△ 2,436,838
人件費支出	△ 6,186,945
医業収入	9,917,643
負担金、補助金等収入	1,009,399
国庫補助金等による収入	16,159
その他業務収入	153,664
その他業務支出	△ 2,381,901
小計	91,181
利息の受取額	1
利息の支払額	△ 85,288
業務活動によるキャッシュ・フロー	5,894
2 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 687,117
一般会計からの繰入金による収入	408,417
寄付による収入	1
一般会計からの繰入金の返還による支出	△ 73,474
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 352,173
3 財務活動によるキャッシュ・フロー	
一時借入れによる収入	1,500,000
一時借入金の返済による支出	△ 1,250,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	741,800
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 569,996
その他の他会計借入金による収入	550,000
その他の他会計借入金の償還による支出	△ 700,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	271,804
資金増加額	△ 74,475
資金期首残高	179,748
資金期末残高	105,273

【注記事項】

1. 資金の範囲

資金期末残高と貸借対照表に掲記されている現金預金は一致している。

平成30年度宝塚市病院事業予定貸借対照表

(平成31年3月31日)

(単位：千円)

資	産	の	部
1 固定資産			
(1) 有形固定資産			
ア	土地		4,114,042
イ	建物	16,898,202	
	減価償却累計額	<u>△ 10,725,630</u>	6,172,572
ウ	構築物	217,655	
	減価償却累計額	<u>△ 185,813</u>	31,842
エ	機器備品	5,960,614	
	減価償却累計額	<u>△ 4,093,091</u>	1,867,523
オ	車両	20,506	
	減価償却累計額	<u>△ 15,251</u>	5,255
カ	リース資産	38,559	
	減価償却累計額	<u>△ 36,631</u>	1,928
キ	その他有形固定資産		<u>23,460</u>
有形固定資産合計			12,216,622
(2) 無形固定資産			
ア	電話加入権		1,488
イ	ソフトウェア	2,272	
	減価償却累計額	<u>△ 568</u>	1,704
無形固定資産合計			3,192
(3) 投資その他の資産			
ア	前払退職手当組合負担金	1,724,531	
イ	敷金	10,000	
ウ	長期前払消費税	<u>260,738</u>	
投資合計			<u>1,995,269</u>
固定資産合計			<u>14,215,083</u>
2 流動資産			
(1) 現金預金			
			105,273
(2) 未収金			
	貸倒引当金	1,514,012	
			<u>△ 698</u>
			1,513,314
(3) 貯蔵品			
			106,192
(4) 前払金			
			3,628
流動資産合計			<u>1,728,407</u>
資産合計			<u>15,943,490</u>

負 債 の 部

3 固 定 負 債

(1) 企 業 債
 了建設改良費等の財源に
 充てるための企業債 6,717,456

(2) 他 会 計 借 入 金
 了その他の長期借入金 1,710,000

固 定 負 債 合 計 8,427,456

4 流 動 負 債

(1) 一 時 借 入 金 850,000

(2) 企 業 債
 了建設改良費等の財源に
 充てるための企業債 784,148

(3) 他 会 計 借 入 金
 了その他の長期借入金 250,000

(4) 未 払 金 1,373,930

(5) 預 り 金 39,656

(6) 前 受 金 75

(7) 引 当 金
 了賞 与 引 当 金 367,035
 了法定福利費引当金 64,389
 引当金合計 431,424

流 動 負 債 合 計 3,729,233

5 繰 延 収 益

(1) 長 期 前 受 金
 了収益化累計額 957,535
 △ 705,192

繰 延 収 益 合 計 252,343

負 債 合 計 12,409,032

資 本 の 部

6 資 本 金 2,816,580

7 剰 余 金

(1) 資 本 剰 余 金
 了受贈財産評価額 17,460
 了他会計負担金 403,476
 資 本 剰 余 金 合 計 420,936

(2) 利 益 剰 余 金
 了 当年度未処分利益剰余金 296,942
 利 益 剰 余 金 合 計 296,942

剰 余 金 合 計 717,878
 資 本 合 計 3,534,458
 負 債 資 本 合 計 15,943,490

【注記事項】

(重要な会計方針)

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) たな卸の方法及び評価基準

貯蔵品……先入先出法による低価法によっている。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産(リース資産を除く)

定額法を採用。

なお、主な耐用年数は次のとおり。

建物本体 39年

給排水設備 15年

(2) 無形固定資産(リース資産を除く)

定額法を採用。

なお、主な耐用年数は次のとおり。

水道分担金 20年

(3) リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用している。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用している。

3. 引当金の計上方法

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、貸倒実績率等による回収不能見込額を計上している。

(2) 退職給付引当金

職員の退職手当の支給に備えるため、当該事業年度末における職員に対する退職手当の要支給額から、兵庫県市町村職員退職手当組合における積立金相当額を控除した金額を計上している。

当事業年度において、退職手当を支給するため、退職給付引当金58,353千円を使用する。

(3) 賞与引当金

職員の期末・勤勉手当の支給に備えるため、当事業年度末における支給見込額に基づき、当事業年度の負担に属する額を計上している。

(4) 法定福利費引当金

賞与引当金の計上に伴い必要となる法定福利費見込額を計上している。

4. その他会計に関する書類の作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。なお、控除対象外消費税等については、当事業年度の費用として処理している。ただし、固定資産に係る控除対象外消費税等については、長期前払消費税勘定に計上し、7年間で均等償却を行っている。



